

♪ Program Note ♪

♪ Jupiter (G.ホルスト作曲)

この曲は、ホルスト作曲、管弦楽組曲『惑星』の第4曲目「木星」の主題の1つをモチーフにして、吉元由美氏が詩をつけたものである。歌手、平原綾香が日本語で歌い、様々なテレビ番組やドラマ、CM等に使用され、一躍有名になった。

♪ Lascia ch'io pianga (G.F.ヘンデル作曲)

この曲は、ヘンデル作曲のオペラ「リナルド」の第2幕で歌われる、アルミナーレのレタティーヴォとアリアである。敵の魔術師に捕らわれた女性アルミナーレが恋人を思って自分の悲運を嘆くシーンで歌われます。

♪ 誰も寝てはならぬ (G.プッチーニ作曲)

舞台は、いつとも知れない伝説時代の北京。冷酷で美貌のトゥーランドット姫に求婚する王子カラフによって歌われる、名アリア。ドラマティックな曲調がフィギュアスケートに良く合い、多くの選手がこれを編曲したのを使い、演技をしている。日本ではトリノオリンピックで荒川静香選手が金メダルを獲得したことによりこの曲の人气が高まった。

♪ Time to say Goodbye (フランチェスコ・サルターリ作曲)

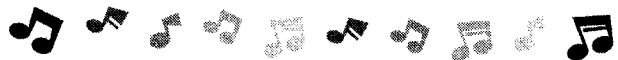
ボレロ風のリズムがエネルギーの充益を感じさせる力強い曲である。原題の「コン・テ・パルティロ」とは、イタリア語で、「君とともに旅立とう」という意味で、英語のタイトルゆえに誤解されやすいが、別れの歌ではなく旅立ちの歌である。

♪ You raise me up (ロルフ・ラヴァンド作詞作曲)

アイルランド/ノルウェーのミュージシャン、シークレット・ガーデンの楽曲で、「ロンドンデリーの歌」の旋律をベースに制作された。2003年にアイルランドの歌手ダニエル・オドネルがカバーし、ヒットする。その後、アイルランドの女性グループ『ケルティック・ウーマン』など、多くのアーティストによってカバーされている。

♪ 「ふるさとの四季」(源田俊一郎編曲)

源田俊一郎氏編曲の日本の唱歌メドレー。ふるさとから始まり、春・夏・秋・冬の季節の移り変わりが書かれている。唱歌が忘れ去られてしまうこの現代、日本の四季の美しさが描かれている唱歌をどの時代にも歌い伝えていきたい。



♪ 演奏者プロフィール ♪

声楽アンサンブル-Ring-

～及川愛、沖津瞳、高橋祐希、

野尻菜々枝、八木路子～

山形大学オペラサークルYCMでの活動を経て2007年に結成した声楽アンサンブル。グループ名の『凜-Ring-』は、女性的で凛としたハーモニーを目指し、指輪(Ring)が形作る「輪」のように、音と人との出会いを繋いでいきたいという願いを込めて命名した。これまで、県内の福祉施設や病院におけるボランティアコンサート、各種イベントでの演奏を行っている。

笠原 裕美(ピアノ)

山形県立山形北高等学校音楽科、山形大学教育学部生涯教育課程音楽文化コース卒業。第23回日本ピアノコンクール全国大会第1位。第1回秋桜の会コンサートに出演。これまでに、戸田志保、蜂谷深、植木由利子の各氏に師事。現在、ヤマハピアノデモンストラーター、ヤマハ大人のピアノ講師。

内田 尚子 (ヴァイオリン)

青森県八戸市出身。5歳よりヴァイオリンを始める。山形大学教育学部卒業、同大学院教育学研究科修了。八戸聖ウルスラ学院高等学校非常勤講師、同音楽研究部講師、その他ヤマハ音楽教室などのヴァイオリン講師を務める。現在、仙台市在住。



～女声アンサンブルの輪舞曲～

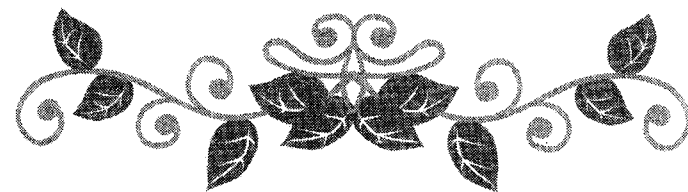
凜

Ring(輪) 音楽と人々を繋げる心のハーモニー

2010年8月29日(日)PM2:00開演

文翔館議場ホール

共催:(財)山形県生涯学習文化財団
(文翔館文化活動支援事業)
後援:特定非営利活動法人
山形の音楽活動を応援する会
Mプロジェクト



♪♪♪ ご挨拶 ♪♪♪

本日はお忙しい中、『凧～女声アンサンブルの輪舞曲～』にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私たち、声楽アンサンブル凧-Ring-は、メンバー全員が山形大学教育学部(現在の地域教育文化学部)で声楽を専攻し、卒業後も演奏活動を続けたいと、少人数による声楽アンサンブルというスタイルで、主にボランティアでの訪問演奏を中心に活動してまいりました。活動を続ける中で、ボランティア以外にも演奏の場をもち、より積極的に音楽を発信していきたいという思いを形にしたのが、今回の演奏会です。

プログラム第1ステージでは、青島広志先生の編曲による「イタリア古典歌曲集」を、第2ステージでは、ドラマ主題歌やスポーツで取り上げられた、皆様にも身近な楽曲をお送りいたします。そして第3ステージでは、「女声合唱のための唱歌メドレー ふるさとの四季」を演奏いたします。

残暑厳しい夏の終わり、本日も来場の皆様には、「音楽のある午後のひととき」を、ゆったりと楽しんでいただければ幸いです。

声楽アンサンブル凧-Ring-

代表 八木 路子

♪♪ Program ♪♪

～第1ステージ～

-青島広志編曲「イタリア歌曲集」より-

♪ **Ridente la calma** W.A.モーツァルト作曲
(微笑みつ 静けさが)

♪ **Stizzoso, mio stizzoso** G.B.ペルゴレージ作曲
(私のおこりんぼさん)

♪ **Vergin, tutto amor** F.ドウランテ作曲
(愛に満ちる乙女よ)

♪ **Gia il sole dal Gange** A.スカルラッチェ作曲
(陽はすでにガンジス川から)

♪ **Ombra mai fu** G.F.ヘンデル作曲
(樹木の陰で[ラルゴ])

～第2ステージ～

♪ **彼方の光 Far Away** 村松 崇継作曲

♪ **Jupiter** G.ホルスト作曲

♪ **Lascia ch'io pianga** G.F.ヘンデル作曲
(私を泣かせてください)

♪ **誰も寝てはならぬ** G.プッチーニ作曲
(オペラ「トゥーランドット」より)

♪ **Time to say Goodby** フランチェスコ・サルトリ作曲

♪ **You raise me up** ロルフ・ラヴァンド作詞作曲

～第3ステージ～

♪ **女声合唱のための唱歌メドレー**
「ふるさとの四季」 源田俊一郎編曲

♪♪ Program Note ♪♪

♪ **Ridente la calma** (W.A.モーツァルト作曲)

可憐で優美な音形がちりばめられているこの曲は、作曲家であるモーツァルト自身がイタリアに旅行していたときに書かれたもので、訪れた国の風を大いに反映した曲調となっている。女性的で柔らかな安らぎを印象付ける1曲となっている。

♪ **Stizzoso, mio stizzoso** (G.B.ペルゴレージ作曲)

1733年にペルゴレージによって作曲されたオペラ「奥様女中」は演奏時間がわずか40分のオペレッタである。その中で歌われるこの曲は、痲痺持ちで金持ちの老人を女中のセルピーナがなだめるシーンで歌われる。メロディーは大変自然で明朗なものである。

♪ **Vergin, tutto amor** (F.ドウランテ作曲)

F.ドウランテは、宗教曲とチェンバロ曲を多く残している。この曲でも、プレグエーラ(祈りの歌)で聖母マリアへのひたむきな願いが歌われている。よどみない美しい旋律によって満たされているばかりではなく、詩の抑揚と言葉のアクセントが自然に活かされており、曲の表情が素直に伝わる作品である。

♪ **Gia il sole dal Gange** (A.スカルラッチェ作曲)

1680年にローマで初演された初期のオペラ『愛のまこと』の中で歌われるカンツォッタである。当時のイタリア人たちは、太陽が昇るとき、憧れを持って東に位置するインドのガンジス川から昇ると考えており、この詩の中にも憧れ・夢・希望が込められ、輝かしさに満ちあふれた作品となっている。

♪ **Ombra mai fu** (G.F.ヘンデル作曲)

この曲はヘンデルのオペラ「クセルクセス」の第1幕第1場で、ペルシアの王クセルクセスが、1本の樹を眺めながら、その美しさを称えて歌うアリアである。叙情に満ち、終始ゆったりとした節回しで書かれている。

♪ **彼方の光** (村松 崇継作曲)

作曲者の村松崇継氏は、静岡県出身のピアニスト。この曲は、イギリスのボーイソプラノユニット、『Libera』によって歌われ、2009年NHK土曜ドラマ『氷壁』の主題歌や、CMソングとしても使用されている。最近では結婚式などでも演奏されている。

